

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2023. 7
No.359

社長塾 再スタート

コロナ禍の中で、中止をよぎなくされた社長塾も再開することができました。合計8クラスで延べ149名でのスタートです。

イナテックの企業理念の原点は、『稲盛哲学』をベースにしております。特に「人間として正しい考え方」を常に追求・探求することが大切なことです。

心の中に何もしないとすぐに雑草が生えてきます。だから常に雑草を抜くこと。そして常に心に栄養を与えることによって、素晴らしい花は開花するのです。

「雑草を抜き、常に心に栄養を与える」とはどういうことか。それは、常に「良書」に触れ、そして自分の頭で考え「反省」をし、

「人間として正しい考え方」で行動を起こすとだと解釈しています。

稲盛さんは次のように分かり易く表現してみえます。

人間としての原理・原則（人に言う場合）

- 一、人のものを盗まない
- 二、嘘をつかない
- 三、人を騙さない
- 四、約束を守る
- 五、弱い者いじめをしない

人間として正しいかどうか（自分自身に対して言う時）

- 一、嘘をついてはいけない
- 二、人に迷惑をかけてはいけない
- 三、正直であれ
- 四、欲張つてはならない
- 五、自分のことばかり考えてはならない

以上のように非常にシンプルで分かり易く表現してみえます。我々は常にこれを身近に置き、振り返るようして下さい。

白洲次郎

【シンプル（原理・原則）のない日本】より

イナテックの顧問である「かがやきグループ」様の経営者勉強会で、白洲次郎氏の実娘さんのお話を聞くことができました。その時に説明された白洲次郎氏の考え方を紹介いたします。

白洲次郎

シンプル（原理・原則）

- 一、言い分けをしない
 - 二、筋を通して生きる
 - 三、自分がブレない、軸がブレない
 - 四、公私混同しない
- 他、働いてくれる人に親切にしろ
ゴルフ場のレストランやキャディさんに
威張るな

白洲次郎のダンディーとは

- 一、言い分けを言わない
- 二、嘘を言わない
- 三、ユーモアであれ
- 四、弱者をいじめない
- 五、そこそこかっこいい

どこか稲盛哲学と同感できるところがあるように思います。

稲盛氏は白洲次郎氏と同じく「原理・原則」を大切にしている。稲盛氏は四書五経を始めとする良書を読み実行してみえる。

白洲次郎氏は、イギリス留学の経験からジエントルマン精神を学んでみえた。そんな共通点があるのではないかと私は考えています。

白洲次郎(1902—1985)

1902(明治35)年、兵庫県芦屋の実業家の次男として生まれる。神戸一中卒業後、イギリス・ケンブリッジ大学に留学。帰国後は英字新聞記者を経て商社に勤務するが、1943(昭和18)年、日本の敗戦を見越して鶴川村(現・東京都町田市)で百姓となる。1945年、吉田茂に請われて終戦連絡中央事務局参与となり、日本国憲法成立などに関与。その後、貿易庁長官に就任、通商産業省を誕生させる。以後、東北電力会長などを務め、1985年逝去。

『稲垣良次メモ』より(1996年度版)

わが家の家訓 福井正憲(株)福寿園社長
「つもり十訓」

- 一、多いつもりで 少ないのが分別
- 二、あるつもりで ないのが財産
- 三、ないつもりで あるのが借金
- 四、深いつもりで 浅いのが知恵
- 五、浅いつもりで 深いのが欲
- 六、高いつもりで 低いのが見識
- 七、低いつもりで 高いのが腰
- 八、儲けるつもりで 損するのが商売
- 九、飾るつもりで 剥げるのが嘘
- 十、隠すつもりで 顕れるのが悪事

1996年に当時船井総研で学んだ一節です。

すばらしく考えられたものは、いつの時代でも色あせないものだということ。

稲盛和夫氏も白洲次郎氏も、原理・原則を大切に、ブレない心身を鍛えてみえた。福寿園の社長も自分の視察や世の中を良く見てみえる。この仮説と検証を繰り返して「つもり十訓」が完成し、家訓として残してみえる先輩諸氏を見習い、一生実行せねばならぬと学ばせていただきました。

イナテックも常にブレない自分に帰るよう『人間として正しい考え方』の探求をして参ります。

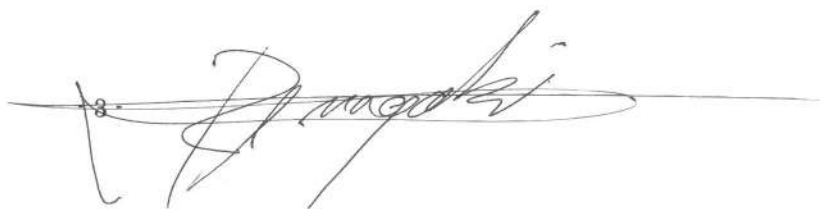
社長塾再スタートに際し、思う次第です。

菜根譚後集

九〇

斗室中、萬慮都捐、說甚畫棟飛雲、珠簾捲雨。三杯後、一眞自得、唯知素琴橫月、短笛吟風。

斗室の中、万慮都て捐つれば、甚の画棟に雲を飛ばし、珠簾を雨に捲くを説かん。三杯の後、一眞自得すれば、唯だ、素琴を月に横たえ、短笛を風に吟ずるを知るのみ。



社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2023. 8
No.360

『千に一つの奇跡をつかめ!』千本倅生 著

良い本を見つけました。我々が師と仰ぐ稲盛和夫氏を動かした“千本氏”の話です。京セラの稲盛さんを中心に第二電電からKDDIの創業を成し遂げた人達の実話です。今回、稲盛氏から学ばれた事を紹介させていただきます。稲盛氏の現実を考えました。

「思考に気をつけなさい、いつか言葉になるから。言葉に気をつけなさい、いつか行動になるから。行動に気をつけなさい、いつか習慣になるから。習慣に気をつけな

さい、いつか性格になるから。性格に気をつけなさい、いつか運命になるから。

「聖女マザー・テレサ」(千本、2023)

我々も、ついネガティブになりマイナスな言葉を発してしまうことがあります。それを

“失言”と言つて撤回される方もいますが、その人の心のどこかにそのような考え方があ

るから口から出てしまうものと考えます。火

の気のないところに煙は立ちません。マザー・テレサの言うように、常に、言葉に気をつける。そうすると行動が変わつて“運”がついてくる。まさにその通りと考えます。

最初に水に飛び込む

「ファーストペンギン」になれるか

エサをとり、海に飛び込む時と同じで、群れは互いにけん制するような仕草を見せるだけで、最初の一羽が飛び込むまで行動を起こさない。

逆にいえば、シャチャやヒョウアザラシといった天敵がいるかもしれない未知の海に真っ先に飛び込む一羽、すなわち

“ファーストペンギン”の勇氣、果敢なチャレンジ精神、そのベンチャースピリットは、称えられてしかるべきものです。

(千本、2023)

イナテックの社長塾でよく話すのは、例えば熱中症で倒れた人や仲間がいたとします。

その時、一歩前へ出て応急処置を即するか、一歩下がって皆の様子を見てしまうのか、答えは一つ。率先して、まず一歩踏み出して行動すること。その行為が仲間の生命を助け救うことになるからです。イナテック社員は常にイメージトレーニングをすることによって、行動することが出来ると信じています。

西洋のことわざに「卵を割らないとオムレツはつくれない」というのがありますが、私はその卵を最初に割ったおっちゃんこちよいのピエロであると同時に、勇氣あるフ

アーストペンギンであったのかもしれない。
（千本、2023）

「迷ったら進む」を信条に人生を歩む

現状維持は後退である、と言うビジネス上の教訓がありますが、もしそうなら、その現状を保つためだけに少しの前進が必要になってきます。

常に少し前へ進んでこそ、現状維持も可能になる。すなわち、迷ったら（迷わなくても）一歩でも前へ進まない、その場にとどまることすらできないのです。

（千本、2023）

イナテックもややもすると、「今のままでいい」「変えるのは嫌だ」「変えるのは面倒くさい」等々聞こえてくることがあります。この千本の言うように「迷ったり・迷わなくても一歩前進」これに尽きると思います。行動する前から「ああでもない、こうでもない」とやらない・やれない事ばかり言っている人がいます。

まずはやってみて、失敗しても良いではないですか。「失敗も前進」の一つなのです。何もしないのは「ゼロ」。失敗はイチなのです。さあイナテック社員諸君！ 行動しよう。

「やってみるのは学ぶことにまきっている」（スイスの哲学者ヒルティの言葉）。動けば、私たちはそれだけ答えに近づくのです。

万策尽きたところから

「ワンモア・トライ」せよ

まして、それが生きたビジネスの世界のことであれば、机の前で理屈をこねまわしていても、いい答えは見つかりません。デスクまわりで思索の頭をひねるヒマがあったら、現場へ出て自分の目で見る、自分の足で歩く。そんな行動力が必要になってくるのです。

答えは現場にある。最適解は行動から導かれる。（千本、2023）

イナテックでよくあるのは、例えば不良対策などをしていくことです。なぜかと言うと『真因が明確でない』現象のみで対策と銘打っているのです。

「現場を見たか」と言えば、現場を見ていない。「機械をバラして観察したか」と言えば、やっていない。「どれくらい汚れて作動不良を起しているのだ」と聞けば、分かりません。これらすべて現場を「観」ていない。ただ「見」ているだけなのです。

今一度、『答えは現場にある。最適解は行動から』を教訓に実行しよう。

「これはいける」という直感が

的中するのはなぜなのか

直感やひらめきについては、いろいろな意見があります。単なる偶然で虫の知らせのような非論理的なものにすぎないという人もいれば、知識や経験の蓄積のなかから瞬間的にすくいとられる英知の断片のようなものではないかという人もいます。あるいは、それはまさに天からの

啓示Ⅱ天啓であり、だからこそ直感というのは物事の本質に最短距離、最短時間で到達できるのだという人もいます。

個人的には、それは人間の「よい心、よい行い」に反応して、天が送ってくれるシグナルのようなものだと考えています。

たとえば、世のため、人のためにという利他の心、社会貢献のために大きな目標を果たそうとする高い志。そうしたよい心や正しい行いのありように「大きな意思」が反応して、私たちに進むべき方向や問題の解決策などをちらりと垣間見せてくれる。瞬間的ではあっても明示してくれる。

それが直感であり、ひらめきであるのではないかと思うのです。(千本、2023)

私が思うに、直感は大切にして欲しい。但し単なる思い付きではなく、千本氏が言ってみえる「知識や経験の蓄積のなから瞬間的にすくいとられる英知の断片」ではないかと思えます。何も知識のない人は、せいぜい沢山の情報を頭に叩き込み訓練の必要があると思います。

その上での直感・五感(目・耳・鼻・舌・触)を大切にするとともに直感・五感を常に磨いておく必要がある。つまり自分で『仮説を立て検証する』癖付けをすることによって磨かれるものなのです。

それが「最短距離・最短時間で到達」できることにつながるのだと思います。

今イナテックにおける両利き経営にもスピードが必要条件だと考えております。

もつともつとスピードを上げるためにも自分の頭で考え行動を起こす。『ファーストペンギン』になることと同義語です。

我々の今描いている構想は間違っていない。自身を持って一歩前へ行動しようではありませんか。

参考文献

千本倅生(2023)『千に一つの奇跡をつかめ!』サンマーク出版

菜根譚後集 九一

萬籟寂寥中、忽聞一鳥弄聲、便喚起許多幽趣。萬卉摧剝後、忽見一枝擢秀、便觸動無限生機。可見、性天未常枯槁、機神最宜觸發。

「^{ばんらい、さうりやう}萬籟寂寥中、^{たちまニ}忽ち一鳥の弄聲を聞けば、^{すなわ}便ち許多の幽趣を喚び起こす。^{ばんき、さいはく}萬卉摧剝の後、^ち忽ち一枝の擢秀を見れば、^{よう}便ち無限の生機を触れ動かす。見るべし、^セ性天未だ常には枯槁せず、^キ機神最も宜しく觸発すべきを。」

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2023. 9
No.361

『人の上に立つ』ために本当に大切なこと』

ジョン・C・マクスウェル 著

右記タイトルの本を見つけました。

リーダーシップについて私共が参考になると同時に、イナテックとの比較で考えてみたいと思います。

本当に有能な人は、

タイミンクを選ばない

・常に向上する

秘訣は「それはなぜだ」と自問することだ。「それはなぜだ」という問いに対する

答えを知っている人はさらにその上をいく。(ジョン、2023)

イナテックで言えば「なぜなぜを5回繰り返し」とトヨタ生産方式で言われていることと、全く同じです。そして自分の頭で考え「仮説」を立て「検証」してみる。そしてもう一度「なぜだろう」と考えることなのです。

最近では「ChatGPT」のようなものが出てきて、何も考えずに、まず検索してしまい、その通りに実行してしまう。だから、次の「なぜ、どうして」が出てこない。欧州で最近 ChatGPT 通りに誘導されて自死してしまった人がいるようです。

まずは、自分の頭で考え、ChatGPT はあくまで参考にしなければならない。生成AIは、倫理感も人間感も無いのですから！

・期待以上のことを成し遂げる
『とにかく精一杯やりさえすればいいんだ』という気持ちに陥りやすい。ホームラ

ンを打ってやろうなどとは考えない。要するに、デッドボールを受けずに試合が終わればいい、というわけだ」

リーダーはこういう姿勢であってはいらない。リーダーたる者は、仕事をやり通すだけでなく、毎日、それ以上のことを実行する必要があるのだ。(ジョン、2023)

私が「朝令暮改」のようなことを言うことがよくあります。それは「より良くしたい」「今日より明日」「明日より明後日」の思いからなのです。『現状維持は後退である』その通りだと思っています。

現実には5S・2Sなど手を抜くと観面^{てきめん}に現場は乱れ汚れます。それでも諦めず、実行するしかない。そうすると現場も綺麗になり、「管理」された状態になり、品質が向上し原価低減が出来るのです。そして社員一人ひとりが成長します。その「社員の成長」こそが「イナテックの社会貢献」なのです。

・人びとを鼓舞する

非常に有能なリーダーは、高いレベルで仕事をするだけではない。彼らはまわりの人びとを鼓舞して、高いレベルで仕事をするよう働きかける。人付き合いのうまさだけを頼りに生き残る者もいるが、有能なリーダーはそうした技術に加えて、自分が率いる組織を卓越した影響力のある組織にまで引き上げるために高い力量を発揮する。(ジョン、2023)

これは仕事だけのことでなく、人間味や愛情が必要ということではないだろうか。

色々な気配りや時には率先垂範もそうではないのか。ただ皆とお酒を飲んでいっただけで、「鼓舞」と言えるだろうか。お酒を酌み交わすことも大切だが、常々のこだわりを背中で見せるパフォーマンスも必要ではないかと思う。

これから私は皆さんの「フォロー」に徹しようと考えています。私の目で見た現場を皆さん

ん(部長さん・課長さん)にデジタル写真で、何も言わず提供させて頂こうと考えております。多言は皆さんを多忙化してしまうと考えております。皆さんが気づいていただければ良いことなのです。

皆さんが当事者意識を持って仲間と運営していくイナテックを願っています。

・勇氣は、「この人についていこう」

という人びとの気持ちをかき立てる

「勇氣は伝染する。勇敢な人物が断固たる態度をとると、人びとの背筋はしゃんとする」。誰かが勇氣を示すと、それを見ていた人びとは勇氣づけられるものだ。リーダーが勇氣を示すと、それは人びとを鼓舞する。そして、「このリーダーについていこう」という気持ちをかき立てる。

「リーダーシップとは、人びとに正しいことをさせる勇氣の表現である」(ジョン、2023)

これを実践するのは、私(社長)の役目なのです。補給品の話もしかり。どんどん補給品が増殖し、以前廃棄処分した時も、「本当にこれで良いのか」との提案であった。しかし、補給在庫と製作の仕組みまで私の「力」では改革できなかった。そして今また、補給品ラインの撤去問題や、製作方法について問題を表に出す使命がこの私(社長)にはあるのです。誰がやるのですか。答えは『社長』です。そのためには何が正しくて、何が出来ていなかを明確にし、正しい方向へ導くのが私(社長)の仕事なのです。全ては私の責任なのです。

最後に、これからは、この会社(イナテック)をどうしたら良いのか、どうすべきなのか、自分たちの頭で考えてみて下さい。

その時のポイントは

・苦しい時、楽な時には苦しい方を選ぶ

・高い目標か低い目標かの決断時には高い

目標を選ぶ

・正しい方を選ぶ

そして我々は、

『人間として正しいかどうか』

一、嘘をついてはいけない

二、人に迷惑をかけてはいけない

三、正直であれ

四、欲張つてはならない

五、自分のことばかり考えてはならない

以上です。

皆さんの頭で考え実行して下さい。結果に

ついては全て、私(社長)の責任ですから。

皆さん「苦」を楽しんで下さい。

それが皆さんの成長です。

参考文献

ジョン・C・マクスウェル(2023)

「人の上に立つ」ために本当に大切なこと

ダイヤモンド社

榮根譚後集

九二

白氏云、不如放身心、冥然任天造。^{*} 晁氏云、不如收身心、凝然歸寂定。放者流爲猖狂、收者入於枯寂。唯善操身心的、欄柄在手、收放自如。

白居易は言う「身心を自由に解き放って、深く自然のしわざのままに任せきるのがよい」と。また、晁補之は言う「身心をきびしく取り締まって、集中して禪定に入るようにするのがよい」と。前者は解き放つ度を過ぐすと気違いじみた行動になり、後者は取り締まる度を過ぐすと干からびた行動になる。そこで(主体性を確立して)、身心をよく扱いこなす者だけが、しっかりと要点を押さえて、収めるも放つも自由自在に操ることができる。

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2023. 10
No.362

『いのメッセージも終盤』

この「社長メッセージ」も1993年9月から始め菜根譚の詩集が全て終えるのでそれで最後にいたします。本来ですと2022年で終了の予定でしたが少シダブリが発生したので2027年3月号で終了いたします。通しNo.でいくとNo.403号で終わる予定です。なんと34年間皆様に読んでいただくことになり、ありがたく思っております。残りも宜しくお願いいたします。

今からの約3年間は、故稲盛和夫氏の『考え方』と『成功』と『失敗』の法則』から私が常日頃会社の出来事を通して学んだこと、考えたことを、記させていただきます。宜しくお願いいたします。

大きな志を持つこと

——気高く、素晴らしい夢を描き、

追い続ける

明朗

人生とはすばらしい希望に

満ちているものです。

常に夢を描くことを忘れない、

ロマンティックで

明るい「考え方」を持ち続けていれば、

未来は開けるのです。

「たとえどんなに苦しい状況にあっても、自分の人生や会社の将来を絶対に悲観的に見えてはならない」「これからの人生は、きつと明るく開けていくはずだ」「会社はこれから必ず発展するのだ」と信じる。そのような、明るい考え方を持つべきです。決して不平不満を言ったり、暗く憂うつな感情を抱いたり、ましてや人を恨んだり、憎んだり、妬んだりしてはいけません。そのようなネガティブな考えは、人生を暗くしてしまいます。（稲盛、2022）

イナテックに当てはめると、自動車業界が

100年に一度の大変革期に来ている今は、

とても苦しい状況であります。この時こそ

“努めて明るい考え方”をすべきなのです。

ガソリンA/Tが減産する中、次の手としては何をせねばならないのか、ガソリンA/Tを大切にしながらも、イナテックの切削+鋳造技術も生かし他分野に挑戦することも大切なのです。

ダメだダメだといくら叫んでも何の解決にもなりません。だからイナテックは両利き経営を方針に掲げ、ここ数年種をまいてまいりました。

今はどうでしょう。素晴らしい「芽」が出てきているのではないですか。イナテックはすごい「力」を持っています。まだ少し時間はあります。この時こそチーム力を生かす時が来ているのです。

素晴らしい人生を歩んでいる人は、必ず明るい考え方をしています。他の人であれば、災いだと感じるような境遇にあっても、

それを前向きにとらえ、自分を成長させてくれる好機として感謝することができま
す。そして、そのように明るくとらえるこ
とで、実際に人生も好転していきます。

世の現象はすべて、自分の心、考え方が
招いたものです。心の有り様、つまり考え
方次第で、人生も仕事も結果は一八〇度違
ったものになります。とても単純なこと
ですが、未来に希望を抱き、明るく積極的
に行動していくことが、仕事や人生をより良
くするための第一条件です。

(稲盛、2022)

我々が考えなければいけないことは、

“自分の心”をどのように前向きに明るく
するか、ということ。

私はズバリ！学ぶしかない、と思っていま
す。

つまり、ご紹介しているような稲盛さんの書
かれた『考え方』の本を読むことだと私は思っ
ています。学びなくして成長はありません。
先達はいつばいみえます。その先達から学ぶ
ことしかないと思います。

また苦しい時こそ、前向きにとらえ実行す
れば、必ず自分の成長の一助となります。そ
して、その積み重ねが素晴らしい人生に繋
ると信じております。

世の中には、見事に物事をネガティブに考
え、常に不平不満を言う人が沢山みえます。
そんな人たちの仲間入りをするのではなく、
明るく前向きな人たちと交流して下さい。必
ず運が付いてきますし、皆さんの“力”とな
ります。正しく「自己成長」なのです。

それらを与えてくれた仲間や仕事に対し
感謝すべきなのです。人は一人では生きてい
けない生き物なのです。だから、お互い明るい
考え方を持つことにより、心の有り様が仕事
や人生を豊かにしてくれると考えておりま
す。

イナテック社員の皆さんも常に明るく前向
きな考え方を実践し、明るい未来を創造し
ましょう。必ず実現します。

茶根譚後集

九三

當雪夜月天、心境便爾澄徹。遇春風和氣、意界亦自冲融。造化人心、混合無間。

雪の積もった明月の夜には、心境も(その雪月の夜のように)、清らかに澄みとおるものである。
また、のどかな春風に吹かれると、気持ち自然に和らぎなごむものである。このように、自然と
人間の心とは、少しのすき間もなく、全く一つである。



社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2023. 11
No.363

『考え方』

稲盛和夫 著

大きな志を持つこと

——気高く、素晴らしい夢を描き、

追い続ける

願望

自分の可能性をひたすら信じ、
実現することのみを強く思いながら
努力を続ければ、
いかなる困難があっても、
思いは必ず実現します。

まず「こんな人生を歩みたい」「将来こんな人間になりたい」「会社をこのように成長させたい」という願望を持つことが必要です。

あらゆる^{かんなんしんく}艱難辛苦にも挫けず、岩をも通すような一念でやり遂げてみせる。そのよう^{くじ}な、強く気高い思いを抱くことが、成功の源です。(稲盛、2022)

我々や皆さんにとっても同じ事が言えます。自分自身のライフプランを考えてみて下さい。意外と漠然としていて、ただ働いているだけ、が多いかもしれません。

稲盛さんの言われるように『強く気高い思い』が必要ではないでしょうか。

例えば、自分はどんな人生を歩むのか、家族や友人と過ごす時間や、健康に暮らすこと、人の役に立つこと、夢を叶えることなど、具体的な願望を描いてみて下さい。まずそれが第一歩です。

自分の可能性をひたすら信じ、実現することのみを強く思いながら努力を続けられ、いかなる困難があっても、思いは必ず実現します。人間の思いは、私たちの想像を超えた、凄まじい^{す。}パワーを秘めています。

願望を潜在意識に浸透させるには、寝ても覚めても、繰り返し考え抜くことが必要です。常にその願望のことだけを、凄まじい^{す。}気迫で考え続ける。すると、潜在意識は、たとえ寝ているときですら働き続け、願望を実現する方向へ自分を向かわせてくれます。(稲盛、2022)

世の中「運が良い」とか「運が悪い」とかよく言われます。私は「運」というものは、全ての皆さんの前に平等にやって来ているのだと考えています。希望が叶うか叶わないかは稲盛さんの言われる『寝ても覚めても、繰り返し考え抜く』^{す。}それが出来る人にしか

「運」は掴めないと私は思っています。「念
ずれば花開く」「一滴の水は岩をも砕く」
等々昔から言われております。神様は常に
一所懸命やつている人達を見て下さっていま
す。

「新しき計画の成就はただ不屈不撓の
一心にあり。さらばひたむきにただ想え、
気高く、強く、一筋に」

どんな困難が立ちはだかっていようと
一心不乱に思い続けることが重要だ。

「さらばひたむきにただ想え、気高く、
強く、一筋に」(稲盛、2022)

我々はさすると、実現するには難しい問
題があるとか、すぐに後ろ向きに考えてしま
いますが、やはり自分の思いを大切に、前向
きにプラス発想することが大切だと思います。
だからこそ成就するということです。

もう一つは「会社としての夢」イナテック
の夢を語らねばならない。それはTOPの責
任なのです。

「両利きの経営」を通して2031年の
80周年には営業利益8%を達成し、皆さん
の給与を押し上げ、物心両面で御家族の幸
福を願うことです。

菜根譚後集

九四

文以拙進、道以拙成。一拙字有無限意味。如桃源犬吠、桑間鷄鳴、何等淳龐。至於寒潭之月、古
木之鴉、工巧中、便覺有衰颯氣象矣。

文を作る修業は拙を守ることと進歩し、道を行なう修業は拙を守ることと成就する。この拙の
一字に限りない意味が含まれている。「桃の花咲く村里で犬がほえ、桑はたけの間で鷄が鳴く」
などというのは、なんとすなおで味わいのある文章であろう。これに対して、「深く澄んだ淵に
映る月影、枯れ枝に止まっているからす」などというのは、(配合の妙は)いかにも巧みではある
が、かえって生気のない寂しい趣を感じる。



社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2023. 12
No.364

『考え方』

稲盛和夫 著

大きな志を持つこと

——気高く、素晴らしい夢を描き、

追い続ける

信念

先が見えないなか、
目標を追い続けるには、
闇を照らす「光」が必要です。
信念という光があるからこそ、
その道を歩み続け、
成功にたどり着くことができます。

私流にこの「信念」を考えるならば『高い志』を常に持ち続け、その『高い志』は常に磨き、深くそして「より高い志」にしていかなければならないということです。

また、仕事という実践を通して真剣に一所懸命やり続けることによって、目標を達成できるのだと考えます。

イナテックは、2031年に創業80周年を迎えます。その時の目標は営業利益率8%です。ただ数値の目標だけでなく、それを達成するため、お客様の開拓をし、歯車加工技術を向上させ、イナテックグループ一丸となつて進めなければ達成するはずはないのです。

A/TパワーTRAIN以外の分野としては、自動車ではEV(電気自動車)の部品や、ARS(安全走行)の部品に販路を広げ、非自動車分野としては、NC旋盤の部品やHB盤(歯切盤)の部品などの受注も始まりました。また、中型or大型ロボットの歯車の受注も期待が持てます。この大型ロボットは、日本独自の肝入りで経産省が主導し、国家プロジェクトとして立ち上げるものです。

日本の小型ロボットは、中国のスピードと低価格に敗戦を期しております。しかし、今後大型ロボットのニーズは莫大な市場がある

ことが分かっており、その要となる大型ロボットのその歯車は、大変重要部品となる訳です。その分野においては、他国の追従を許さない歯車加工技術をイナテックが身につけ、日本国攻守プロジェクトを成功させる立ち位置にいます。

イナテックグループ全社で、歯車加工技術をより高度に磨き上げ、生き残ろうではありませんか。

動機が善、つまり美しい心から発したものであれば、結果は必ず良くなる。逆に動機が不純では絶対にうまくいくはずがないと私は信じていました。

「世のため人のため」という思いだけでした。その純粹で美しい思いのもと、一意専心、努力を続けたことこそが、成功の最大要因だと考えています。

これからの日本を担う若い人たちには、ぜひ信念の持つ力を信じてほしいと思います。限りなく純粹で強烈な信念を胸に、ひたむきに努力を重ねる。そのような「考え方」のもと、懸命に生きること、人生

はより実り多きものになるのみならず、この社会も豊かで美しいものになるに違いありません。(稲盛、2022)

「世のため人のため」つまり、人間は自分一人では生きていくことができない生き物なのです。地球や自然そして宇宙があるからこそ人間という生命があり、そして身近な周りの人に助け・助けられて、お陰様で生きておられ、生かされているということを忘れてはならなく、自覚せねばならないことなのです。

つまり利他の心が必要な訳です。利他の心とは「他人の喜びを自分の喜びとする」心です。自分のことだけを考えるのではなく、相手の人を助けてあげたり、また相手の人に親切にしてあげた度合いに応じて、その愛は自分に返ってきます。そんな『美しい心』を持ったイナテック社員集団にしたいと思っています。

自分の周りの人だけでなく、生き物や地球環境に対しても利他の心は通じるものです。

今年一年社員の皆様、また御家族の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。

今年の始めは、売上が急激に下がりこのままでは立ち行かなくなるという非常に危険な状態でしたが、イナテック社員の皆さんの努力とお客様の頑張りで持ち直すことが出来、本当に感謝いたしております。

半導体不足やコロナ禍の問題も解決に向かつており、EV化の波も冷静に考えられるような空気も出てきております。

来年の予想は楽観できませんが、今年後半の水準が維持できそうという情報を得ており、イナテックの経営体質を強化できるチャンスが、2024年と考えております。2023年度にまいた種に水をやり、肥料をあげて成長させるのが2024年度です。できれば、少しでも新種の収穫をしたいと思っております。

来年もよろしくお願い申し上げます。

社長 稲垣良次



菜根譚後集

九五

以我轉物者、得固不喜、失亦不憂、大地盡屬逍遙。以物役我者、逆固生憎、順亦生愛、一毛便生纏縛。

我みずからが主で、外物を従として使役する者(君子)は、成功したとて、もともとさほど喜ばず、失敗しても、またさほど心配もしない。そして、この広大な地上もすべて悠々として自適するの地としている。(これに反し)、外物が主で、我は従として使役される者(小人)は、逆境には、もともと思うに任せないで怒りやすくなり、順境にもまた、ようやくかなえられた願いごとに執着する。そして、毛すじほどの事がらでも、すぐそれに束縛されている。